

12月17日（火） 大田会場

**【質問者1】**

冒頭、40分間ですか、市の方から資料を頂きました。一番最初に市長の方から心からお詫び申し上げますというふうなご挨拶から始まったわけですが、この資料のはじめのところに一切謝罪の言葉等々が無いということについて、とても遺憾に思っております。まずそれが、第一。そして、このような資料が出てくるなあというふうには、想像はしておったわけですが、何か、経常収支比率が100%超えにもかかわらず、なんでという理由で超えてっていうのを、一切説明せず、大変なことになったから今年度以降こうなりますよと、平成26年度から4年間はこういう推移だったんで大変なことになったりしますっていうことのみ説明なわけですね。まあ、新聞報道等がありまして、大分県の資料によると、平成30年度の経常収支比率、当然100%超えは杵築市のみでありまして、それに近いのが津久見市98.9%、佐伯市98.4%、その次が日出町98%というふうに非常に危機的な状況を踏まえております。ただ、佐伯市とか津久見市においては、今年度からなのかもしれませんが、このような危機的な状況に対して、行財政改革のですね、きちんとやっていると記事化されております。それでまず基本的なことお聞きしたいんですが、なぜ、他の市町村においても同様な状況だと思えます。大分県内の各市町村においても、この数年の収入等々の削減、支出の増というのは、見えていることだろうと思うわけですね。先ほどの説明においても、この数年間はこういう推移であるっていうことは、分かっていることじゃないですか。それにも関わらず、なぜ杵築市だけが100%を超えたのか、その検証がいるんじゃないですか。どこがダメだったんですか。それを検証せずにですね、当たり前去年はこうで、今年はこうで、来年度以降4年間・5年間こうしますなんて言われてもですね、納得できるわけじゃないじゃないですか。その説明をまず、お願いしたいと思えます。

**【財政課長】**

杵築市におきましては、第3次の行政改革大綱というものを平成29年の3月に作成をしております。それに基づきまして年度の検証等を行ってきたわけですが、その行政改革大綱の実施、結果的に行政改革大綱で定められたことが実施できなかったということが、このような結果につながったと思っております。それにつきまして、財政的な面で行きますと、補助金の見直しだとか、利用料の見直しだとか、そういったものを挙げておりましたが、結果として、その実施が不十分であった。それから歳入が減るといのは、合併算定

替えの終了ということで周知の事実でありました。それに応じた歳出の削減に取り組みなかったということが今回の100.9%につながったと思っております。

**【副市長】**

よろしいでしょうか、今の回答で。

**【質問者1】**

大変、恐縮です。何を言っているのか訳が分からない。何が原因なのかっていうことを、十二分に検証せずにね、当たり前のように次年度以降減らしますって言われても困るって言うてるんですわ。何が原因だったんです。どこの部署が分からなかったんですか。他の市町村は十二分に対処できているのに、なぜ杵築市だけ、今回の12月14日の新聞報道も杵築市甘い行政運営って批判されているんですよ。何が甘かったんですか。どこの部署がこれを気づかなかったんですか。ないしは気づいていても何とかなるわと見逃したんですか。その辺のところの検証をどういうふうにされているのか、それをやらないでこんな説明会やっても意味ないでしょ。そういうことを言うてるんですよ。返答なさい。

**【財政課長】**

財政を預かる課として、毎年度の予算編成、これが非常に甘かったと反省をしております。あの行政改革の計画等はあったわけでございますが、それを予算編成に反映させてなかったということで、その年度を繰り返してしまったということが、この状況になりました。ですから、実績の検証、本当に行政改革の反映ができていくのかということ、今後は厳密に行っていかなければならないということでございます。

**【副市長】**

あの財政を担っていく、行政を運営していく上においては、中期財政計画というのがあります。これは5年から10年先を見てやっていくわけでございます。5年前の平成26年に中期財政計画を立てております。その時に平成30年度の経常収支比率がどうなっていくのかと、このまま事業をやっていくとどうなっていくのかというのが、出てるわけでございます。これが100.3%に予想されていたわけです。もう5年前からこういうことが、実は予想されていたわけです。その予想されていたものをちょっと甘く見過ごしてきたというのがあります。こういう現状が起きたということで、財政のなか、先ほどから

言ってますけども、収入を見ながら支出を見ていくわけですが、その収入を過大見積もりしたりした分が若干あるんじゃないか、支出、いろんな事業に取り組んできました。これは大きな事業をたくさんやってきた。もう一つは合併をして、合併をした当時は旧杵築が90億くらいの財政規模でした。旧山香が60億、大田が20億。そうしますと大体170億になります。今の杵築市の財政状況を見ますと、220億になってるわけです。大体50億、合併した時点と比較しますと、そういう大きな予算規模になってるわけですが、それが、今になって、このような状況を生んだのではないかと、非常に申し訳なく思っているところでございます。

## 【質問者2】

今、質問があったことに対して本当に適切に返答をしていない。

今、財政課長、副市長が言っているのも、なんて仕方ないようなことを言って、経営者としては成り立たないんですよね。普通、一般の家庭でも経営するにあたり、収入がどれだけあって、支出がどれだけだっことを計算していくのが普通だと思うんですよね。先ほど5年前に100%を超えるという目安があったのであれば、今回、市のいろんな行事なり事業なり、財政課の方が、これはダメ、これはダメというふうにして、かなりお金を削ってきてますね。来年度に向けて、その前の時になぜ出来なかったのか。今までの財政課長、今の課長、前の財政課長は誰だったのか分かりませんが、居るんじゃないですか。経営手腕が無いんじゃないですか。財政課長として。そういう方がどうして財政課長になるんですか。市長や副市長、総務課長が誰々がいいと思ってやってるんでしょうけど、そういうことじゃ経営としては成り立たないと思います。この責任は、市役所職員全員の責任になります。財政課の職員皆ですよ。私が聞いているのは、収支、歳出の計算間違いがあったというふうな話を聞いています。それは本当か嘘か分かりませんが、財政課の中で、そういう噂を聞いています。収入と歳出ですかね。間違っていたというふうな。聞いてますけど、そこら辺はどうなってますか。財政課長、分かっている。

## 【財政課長】

申し訳ございません。計算間違いということでは無いんですが、以前から財政調整基金というのを積んできておりました、その財政調整基金を充てることによって、単年度の財源手当ができてまいりました。そこに頼りすぎたということですが、財政調整基金をあてにした予算編成を行い、この結果になったということですが、

## 【質問者 2】

家庭のことを言いましたけど、財政課長、自分とこの家の収入と支出の分で少なくなったときは、奥さんにすいません、すいませんで、お宅とおりますか。お前何してたのかと絶対怒ると思いますよ。俺の給料に見合ったくらいの生活をしろと。絶対言うと思うんですけど。市長も皆さん一緒ですよ。一般の家庭でも大変なのに、市を預かっている方々は大変だと思いますよ、実際に、そこらへんのところは、ある程度考えてするのが経営じゃないですか。ただ、雇われとして、居てさえすればいいという職員もいます。何も仕事しないで、一生懸命仕事をしている人でも、同じ給料なんですね。そういう方にも金を払う。先ほど人件費とかの問題も。無駄な金をいっぱい使っている。もうちょっと経営者のあるべき姿を見せてください。悪いけど、市長30%カット、それを50%カットにしてください。議員30%カット、そのくらいしてください。

## 【副市長】

はい。

## 【質問者 3】

今年は、いろんな所で災害があって、台風19号などで、被害があつたり死者が出たりしました。そして、杵築市も災害が無くてよかったな。年が越せるな。皆思ってた。ところが市役所を震源とする直下型地震が起こりました。これは市役所を原因になる激甚災害と考えます。そこで市長にお尋ねしたいことがあります。私たちは、新聞報道、あるいはテレビ・ラジオ等のマスコミの報道でしか状況を知ることが出来ないわけなんですけど、その中で、この緊急対策の12月14日の新聞報道によりますと、就学支援教員の減員、削減、教育ネットワーク事業の廃止、そのことは、子どもたちにも、この責任を押し付け行くのか、とっております。子どもは地域の宝と言いながら、子どもたちに応分の負担を負わせるというのは、いささかおかしいのではないかと。移住者を増やそうとして空き家バンク、あるいはいろんな方策をしている中、子育て支援の取り組みが手厚いところこそ、近隣の市にもありますけど魅力を感じるんじゃないでしょうか。まるで思うに杵築市は子育て支援はできません。手厚い支援のところに行ってください。言わんばかりの削減案ではないかと思います。今のままでは、先ほど自宅の話が出ましたけども、自分の家が貧乏になつたら教育費は払えないんだと、進学はあきらめてくれと言ってるように聞こえてなりません。この厳しい時にこそ20年、30年後の杵築市の将来を担う子どもたちに対する投資として、教育への支援、子育て支援を維持していただきたいと思います。以上です。

## 【市長】

今、教育に関してのご質問がございました。杵築市も家庭と学校と地域、三者が一体となって、大切な子どもを育てるということで、平成25年の4月に教育立市宣言を行いました。そのおかげで、学校現場、地域、家庭が一つとなって杵築市の子どもたちの学習面で中学校も小学校も成績が良くなったということです。それで、今ご心配のあります教育に使っていたお金がどんどん減るんじゃないかということですが、これは、令和2年度の予算編成の今、途中です。それで、例えばですけども、イベントが中止ということで、大々的に書かれておりますけども、4つ5つくらいの課が、それぞれの課でそれぞれ別の対象者でイベントを実施しておりますけども、課の壁を越えて、今回、課の数を減しますけども、ただ中止をする、ただ人を減らすということじゃなくて、工夫次第でいろんなことができるなあと、例えば高齢者であるとか、学校の生徒であるとか、障がいのある人であるとか、農業のイベントであるとか、商工会のイベントであるとか、そういったものを一つの会場にまとめる。いろんな人が集まることによって、経費が半分くらいで済むとか、職員の動員も少なく済む。そういったことを組合との交渉の中でもお話をしています。いずれにしても、結果がこういうことだと独り歩きしているようなところがあります。そしてそれがまた、ご不満・ご不安を増幅しているところがありますけども、皆さん方のご意見、そして職員からも非常に画期的な案を出されておりますので、皆さん方から今日お寄せ頂いたアイデアとかお叱り、そしてご不満・ご不安そういうところをお聞きして、皆さん方が本当に望むようなもの、積み上げ方もいろんな工夫でクリアしていきたいとそういうふうに思っています。

## 【質問者3】

元ですね、市の職員でありました。でありますけどもですね、私はずっとですね、合併して見てきました。皆さん方の心の中に住民の幸せを考えた施策をしてないような感じがいたします。大田のことについて、申し上げますけども、中学校と小学校統合、そういう問題もございます。しかしですね、それは本当に地域住民が望んだことかどうか、まずそれをですね、考えていただきたいと思います。皆さん方がするのは、行政の立場の行政しかしていないんですよ。私はそういうふうを感じるわけがございます。やはりですね、皆さん方の幸せ、皆さん方の生活、所得の向上、地域の活性化というのをですね、いろんな事業ができる訳でございます。単費を使わずにできるだけ、国にいてもですね、補助金で活用できるようにですね、私は考えるべきだと思います。他の市町村の話をして申し訳ございませんけども、ある市では市長が事業をするときには、高率の補助事業でなければするな。悪いけども県に行っているいろんな情報をつか

んで来い。できなかつたら役所に帰ってくるな。くらいなことを言ってる市長もごさいます。非常に市長が・・・というような話でございますけども、それが最終的には地域のためになるわけでごさいます。皆さん方がやってる事業は、私ははっきり言いまして、市民が望んだ事業であるかどうかですね、疑問を感じております。ずーと感じておりました。だからこれからはですね、申し訳ありませんけども、一人一人の市民の立場に立って市民の方が幸せになる生活が豊かになるというような方法で行政をやってもらいたいと思います。それをぶち破ってですね、市民のためにやってる市長さんもごさいますので、市長さんも見習ってこれから食欲に地域の人のためになるかならないか、考えてこれから先、行政をやってもらいたいと思います。私は永松市長さんに期待をしました。まさかこういう事態になるとは夢にも思っておりませんし、大田のためにですね、いろんな事業をしていただいたならば、ここにおられる方がですね、そんな皆さん方に文句は言わないと思いますよ。大田のために私は杵築市はやってないというふうに思ってますので、今後ともそういうことがないようにお願いいたします。以上です。

**【副市長】**

はい、ありがとうございました。

**【質問者 4】**

副市長に質問いたします。今回、職員の給料と、市長の給料、議員報酬ですね、これにつきまして、3%とか10%カットしましたとか、1割ね、これが本当に適正なのかというのが、そのベースは何を基準に決めましたか。

**【副市長】**

はい、カットのベースでございますが、これは以前、大分県内では〇〇市が財政再建団体になったことがあります。そういうところをベースにいたしまして、その時に市長の削減カット率が3、3%、特別職3割・2割・2割というようなこと、それから職員につきましても、5%というような先進事例を参考にいたしましてカットをしたということでございます。

**【質問者 4】**

そういうことではですね、財政の健全化は難しいと思います。例をあげればですね、杵築市の市職員の給料は、大分県の職員の給料の平均の何番目くらいに高いと思ってますか、これはですね、新聞社、来てますかね、平成11年かな、このころから新聞社が毎年1回出しているんですよ。職員の給料を。それ

がですね私は杵築市は高いというふうに認識しております。それを帰ってから調べてみてください。それからもう一つ、今日は市長がここにおられますけども、市長もかわいそうだと思いますが、これは市長の責任もあるけどもね、一番責任は予算の決裁をした議員の責任が大だと思います。それから改善チームの課長ですかね、課長がチームのワークの長になるとか言ってるんだけど、それが防げなかった者がそういった長になっても、何にも役に立たないのでないかというふうに思います。新しい発想も出で来ないです。それともう一つ、総務課長に聞きますかね。総務課長、今ですね、杵築市は車は何台ありますか、普通乗用車・軽乗用車、大型、特に普通乗用車ですね、軽乗用車、職員が乗る車、何台ありますか、この場に出てくるときは、そのくらいのことはちゃんと掌握しててください。当たり前のことだ。世の中はね、人・物・金なんですよ。今はね、人員の削減とか、そんなことばかり言ってるんだけど、人員を削減することが、必ずしも良いことじゃないんですよ。5年先、10年先、3年間、この目標3年間でしょ。たった3年間、それで10億だとか言ってるんだけど、3年の間職員をどんどん減らしてね、あと3年後、伝統だとか政治だとか、中の行政を継続できる人間がいなかったらダメなんですよ。だからそれはそれで姫島が参考だけでも、少し給与を下げたね、人員は確保したほうがいい。そうしないとですよ、もう見てのとおり、全国版になっていますから、企業なんか出てきませんよ。市長がなんぼ頭を下げて杵築市に来てくれと言っても、絶対出てきませんよ。こんなところに。それから転入や子どもさんのことも言いよったけども、家探しのこともいいよったけども、来たいと思うことはなくなりますよね。そういうマイナスイメージはダメなんですよ。車もそうなんですよ。車は先ほど言ったように、台数が多すぎる。二日間見ました。ほとんど走っていない。走るときは、どういう状況かと言うと、一人で運転してる。もう軽乗用車に替えてください。普通自動車はいらんでしょ。台数を減らす。どうなりますか。車があるとどうなりますか。車検を受けんといかん。保険を掛けんといかん。いろいろ問題が出てきます。私はやるべきことが相当あると思いますので、しっかりやっていただきたいと思います。以上です。

#### 【副市長】

ありがとうございます。ほかに。

#### 【質問者5】

2点ほどお聞きしたいと思います。まず1点は、いろいろ質問がかぶっていますが、人員の削減という問題がありました。もちろん、人員の削減そのものが、全部が大変とは思いませんが、ただ、合併するとき大きな問題になっ

たのは、やはり人員の適正配置ということが大きな目的にあったことは私も記憶しています。ですから、合併して余剰人員を、適正に削減して適正な人員配置に行こうと、大きな目的だったと思います。これを見ますと随時人員がどんどん増えていきますし、そして臨時職員さんもかなりの量で増えてきていることは事実だと思います。それにしたがって、それに対する人件費も先ほどから何回もでてますように人件費の高騰がかなりのウエイトを占めています。ここら辺のところを、再度もう一度、メスを入れていただけないだろうかと思います。

もう一つは、市の監査委員会というのがあったと思うんですね。その監査委員会で、こういうような指摘はなかったんだらうか。先ほど、ちょっと出ましたけど議会でこういうのが出らなかったんだらうか、私は民間で勤務してきたものは、特に決算書というのは、非常に貸借対照表というのを重視いたします。それで、監査委員会でどのような報告がなされてきたのか、不思議に思っております。この2点でございます。

#### 【総務課長】

この度は、ご迷惑をおかけします。人件費のことです。合併当時は400人少しおりました、平成26年には200人代に落ちました。そこが一番下であります。その時に平成25年・26年に病院に派遣しました職員たちが、うちに帰ってくるということがありまして、帰ってくる職員を計算に入れずに採用計画を立てたこと、それから国県のいろんな事業が市町村に降りてきて、その対応をすること、また、政策的事業の中でどうしても人が欲しいということで、専門的な方を雇ったこと等々で、若干人数が増えております。おっしゃるとおり適正化はしなければならなかったんですけども、そういう事情で事業や帰ってくる人、採用のバランス等々が適正に行われていなかったのも、このようになったと思っております。なお、令和4年までの計画では、今、提案がありましたように臨時嘱託職員、来年度から会計年度任用職員という制度が変わりますけども、そういった形で制度を利用しながら適正化に向けていきたいと思っております。

#### 【質問者5】

それから、もう一つ。市報の募集人員というのは、それを考慮しての募集でございませうか。

#### 【総務課長】

はい。庁内でヒアリングというのを行いまして、今、事業を減らしていったら、この人を配置しなくていいとか、そういうヒアリングをする中で、職種の

洗い直しとかをして募集している内容でございます。

#### 【質問者 5】

現職の方を解雇するとか、私が言ってるのは全く違います。ただ、定年を迎えられたら、また新規採用の時に当然、適正な配置というものは、なされているだろうと思うからお聞きしたところなんですけど、是非とも、はっきり申し上げまして、一般市民との感覚と市役所が、市長や執行部が思われる適正な配置とのズレがあるんじゃないかなと思うところです。そこら辺をどうか一段掘り下げて適正な人員配置というものを考えていただきたいと思っております。先ほど申しました会計年度任用職員制度の問題はどういうことになっておられるんですかね。

#### 【財政課長】

決算のたびに監査委員さんから、監査報告、監査意見書というのを頂いております。特に平成28年度からは、非常に厳しい意見書を頂いております。先ほどの行革大綱と同様に監査委員の厳しい意見の私の受け止めが甘かったと反省しております。申し訳ございません。

#### 【質問者 6】

さっき、姫島の話が出たから、今から言いますけど、大田の職員、杵築の職員、山香の職員、行っても挨拶をする職員、一人もいない。あんたたちは姫島に一時いっちょいで。姫島がエビ祭りをしたけど、人口が10年前が2,700人、現在はちょうど2,000人、700人ほど減っております。エビ祭りしたのに外から入ってきたお客さんは、2,000人を超えております。職員さんが全員挨拶をする。ここの職員はひとつも挨拶をしない。姫島に行って教育をしちよいで。姫島に行って、そこに車を止めてたら500円取っていた。最近はずんずんお金を取らない。職員さんが皆ついていて、ここに停めてくださいと行って、駐車場はひとつもお金がいらぬ。職員は皆、また来年も来てくださいと、年に4回、2,000人が、倍以上姫島に集まる。それと、テレビのことだけど、水道代も何もいっしょだけど、公共事業は何も値上げするわけだろ。テレビのことでちょっと聞くが、豊後高田市は、電話代がタダ。分かる。今度はケーブルをし直すとか言っているが、10年くらい、そんな短くしかもたないのか。お金がないというのに、ケーブルテレビをし直すとか、何事か。もう一つ言うが、杵築の方に図書館を建てただろ。あれは議会が反対したじゃないか。あれは何億かかっているのか。個人の家でな、収入と支出が合わなかったら、倒産。いつか姫島に教育に行ついで、明日から。それとな、

豊後高田は電話代がタダ、ケーブルをし直すというのにどんな計画をしているのか、それを説明してくれ。

**【財政課長】**

ケーブルテレビでございますが、今更新をしているのが杵築地域。これは平成14年、合併前に整備をしております。電気関係でございますので、一番老朽化の恐れがあるのは、発信の部分でございます。庁舎の3階でございますが、今回これを更新して、平成14年でありましたので、大田・山香地域でやった方式よりも更にひとつ前の方式であります。間にいろんな機会をかましていますが、これも電気製品でありますので、14年から16年が経過しておりますので、これは更新の必要があるということで、来年度までの予定で杵築地域の更新をするということにしておりましたが、こういう状況でありますので、単年度の事業費を下げ、事業期間を延長せざるを得ない状況にあります。以上です。

**【質問者6】**

電話はどうするのか。

**【財政課長】**

多分、高田市のIP電話のことだと思いますが、高田市の状況が分かりませんので、調べさせていただきたいと思います。

**【質問者6】**

それとな、80歳以上はケーブルテレビのお金を取ってない、高田市は。分かる。なぜ、今頃、光ケーブルをするのか、その時に光ケーブルは出てたじゃないか。また、テレビ全部映るようにするのか。

**【総務課長】**

前の職場でケーブルの担当をしておりましたので。先ほど、財政課長が言われたように、機械の更新時期が来るとともに、幹線といわれるケーブル線。IP電話については研究したいと思います。

**【質問者6】**

大田・山香・杵築で、税金を払っていないのが何人いるのか。滞納とは、何事か。滞納者をゼロにしてください。取る所から取ればいいのだろ。

## 【質問者 7】

今日は、一般市民として話させていただきたいと思います。今までの説明を聞いていて、非常に不安に感じました。本当に責任の所在がどこにあるのかっていうのを市の幹部が本当にとらえてないというか、そういう気持ちに本当になりました。例えば、給料を減額したっていうのも、先進事例に習ったとか、あり得ないなと思うんですよね、一般職員の給料は生活が懸かっていますし、削減はね、慎重にしないといけないと思うんですけど、自分たちの報酬・給料もですね、先進事例に習ったというのは、ないだろうと思いました。副市長が財源がですね、収入の方を過大に見積もったみたいなことがあったんですけど、この何年間の状況で、収入の方を大きく見積もるなんてことはありえないと思うんですよね。そこが、理由として出てくるということは何か不思議な気がしました。どんどんどんどん、合併して地方交付税も10年経ってですね、どんどん減額されるって言うのが分かっている、地方税も市民税もそんなに上がらないって言うのは分かっている。どこにそんな増える見込みがあったのかっていうのが、相当クエスチョンがつかしました。そういう見積もりの甘さっていうか。後はですね、いくら何でも、財政課は分かっていたはずですよ、それは佐藤課長の前から多分分かっていたと思うんですよね。財政計画は杵築にはなかったのかって。監査はどうなっていたのかって。監査は、ここ数年間は厳しい監査報告が出ていて、ここを改善しないさって言う意見もつけて出されていたと。それが、各課でできなかった、甘かったとずっとおっしゃってますけど、甘かったと、どうして甘くなったのかっていうことを総括したのかと、私は本当に思いますけど、市長がいつこの財政危機に気が付いたのかって、〇〇議員の質問に決算の時期だと、今年の。今年の決算の時期に気が付いたって言うのは、もうありえないなと思いました。財政は分かっていたはずだし、その共有が全くなされてなかったんじゃないですか、市役所で。市役所の中で、情報の共有化、それから各課の職員の意識が、チーム杵築市として全く動いてなかったんじゃないかと思われま。本当に職員の削減というか、人件費の削減をするって言うんですけど、私が望むのは、本当に職員の人に目一杯働いてほしいんですよ、本当にみんなの能力を全部出し切って、市役所の仕事をしているのかっていうのを聞きたいです。だから、そういう職場をちゃんと作っていかないと、こんな財政再建計画は無理ですよ。絵に描いた餅になります。だからそのところをちゃんとやってもらいたいし、本当にね、きちんと市役所の中で、今来ている幹部だけじゃなくて総括をしてください。私たちはどうやって働くのかって。例えば、残業代をカットするってなってるけど、そしたら勤務時間内にきちんと仕事をやらないとだめなわけですよ。そういう働き方を職員全体がやろうというふうにならないと、本当に残業手当も出なくて残業をやって、どん

どんどん士気が落ちるばかりですよ。そういう意識をちゃんと全員で持つ。それから市長に言いたいのは、人件費のカットの中で、人事交流で今厚生省から来てますよね。課長が。私は、それは本当に納得がいかないんですよ。人事交流って言って、厚生省から国から金が出てるんだったらいいけど、人件費は全部こっちが持つっていう人事交流なわけですよ。あともう一つ、外部の人を市役所に入れて、市長の思いは改革をしようと思われたんだと思いますけど、だけど、その分市役所の職員の仕事は、職員数はいる訳ですから、その分の人件費はたくさんかかっているんじゃないんですか。私はちゃんと杵築市の職員を本当に勉強してもらって、市町村アカデミーとかにも行ってもらって、人事交流って言うんだったら、こっちから厚生省を受け入れて向こうで給料を出してくれるんなら本当に人事交流だと思いますけど、そういうことはなくてですね、こっちが全部持って、人事交流やるってというのは、間違っていると思います。市役所の職員を本当に適材適所に着いてもらって、仕事をしてください。そういう能力をちゃんと、市役所の職員は能力はあると思うんですよ。本当に発揮できているかって言ったら、発揮できてないんじゃないですか。他所から連れてこないで、ここの職員を使ってください。そういう人件費を使うのを私は止めてもらいたいと思います。もう一個言いたいのは、子どもにかかわる部分の予算は、絶対に削減しないでいただきたい。本当に希望の無い市になりますから。私たち、Iターンの人たちに来てもらいたい。今から子どもを産む人や子育て中のね、Iターンの人たちに杵築市に入ってもらって、ここで子どもを育てて、この地域を担う人たちになってもらいたいと思ってますけど、子育て支援のお金を削ったら、本当に来ません。そこは本当にお願いしたいですね。以上です。

### 【副市長】

先ほど、収入を過大に見積もりをしたという件でございますが、これは、普通交付税が、合併から、合併算定替えまであるわけですが、10年は合併算定替えということで、その後、一本算定になるわけでございますが、その一本算定になるときがもう少し入ってくるのかなというようなことを考えていたということです。もう人口も減ってますし、減ってくるのは事実でございますが、減るのを少なく見積もったということでございます。収入については普通交付税の関係です。

### 【質問者8】

2つほど質問なんですけど、非常勤職員34名削減となっておりますけど、これは、即削減しても仕事はできるということですね。ということは、それだけ市

の職員はあまり働いてなかったじゃないかと、私は受け取った。それともう一点。ふるさと納税の1億円以上の増額目標とありますけど、これだけ全国的になった財政困難な市に納税をしてくれる人がいるのでしょうか。そういうためには、どんな手段をしてやるのか、これを挙げている以上、どういう手法で更に増やそうとしているのか、それを教えていただきたい。

### 【副市長】

臨時嘱託の削減でございますが、当然削減すれば、それだけ仕事が出来なくなるわけでございますが、今、退職をして、定年退職をした後に再任用という制度がございます。退職した職員がそのまま残るという制度でございます。そういう職員の方を再任用で引き留めて、仕事をしていただくということで、こういう状況になってますので、人件費の削減をしながら、仕事はしていただくということで、課長等の経験をした方が退職されるわけですから、その分の仕事はできると思っております。それから、ふるさと納税でございますが、昨年は1億5,000万円のふるさと納税がありました。今年度が今のところ3億5,000万円確保しようということで、約2億円ほど上がってきてるわけです。こういう市にふるさと納税をしてくれる人がいるのかということでございますが、これは我々がセールスマンに立って、皆さんにお願いをしていくという覚悟でございますので、それともう一つは、ふるさと納税をするためには、インターネットがございます。ふるさとチョイスというネットがあるわけで、ございますが、そういうネットの中でも一番いい、上位のクラスのネットを今回採用していただくということになりましたので、また、来年も期待が持てると思っております。以上です。

### 【質問者8】

これから先はどうなんですか。

### 【政策推進課長】

ふるさと納税の担当をしております。平成29年度の2億5,500万円程度、これが、ふるさと納税の杵築の最高額でありました。半分が市に残って、半分が経費と事業者さん、野菜づくりとか、杵築ブランド商品をだしていただいたとか、そういう方にお支払いをします。これにつきましては、職員が頑張っていたいただいて200余りの商品数を今500を超える商品数を掲載させていただいて、事業者も20数社を今60社の杵築市内の農家さんとか、事業者と契約させていただいてふるさと納税額、今年、3億5,000万円近くにはなろうかと思っております。今後は、ふるさとチョイスという一番大きいふる

さと納税サイトの特別枠みたいなのが取れましたので、それに基づくと一番最初のトップ画面に杵築の商品が上ってまいります。お客様は飛びつきやすくなっていくということになりますので、来年は初年度になります。そういう載せ方などを研究させていただいてこれから、1億円ずつ毎年増やしていきたい、少しふるさと納税、経費率が厳しくなりましたが、今年から、それを跳ねのけて増やしていきたい、ふるさと納税は、大きい収入の中の一部でございますが、そういう形で頑張りたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

### 【質問者 9】

あともう何日かです。令和2年度、本当に輝かしい令和2年度が迎えるとする寸前です。先ほど言われましたように大きな大地震が発生をいたしました。杵築市民にはですね、この内容を全然知らせてくれない、今日初めて、ここに皆さんが来て説明を頂きました。マスコミ発表を大々的にしてですね、もう杵築市民は不安のどん底に陥れていただきました。もうこれはしょうがない、あきらめムード真っ最中、あれも削られるとか、これも削られるとかというようなこういったムードを誰が作ったのか。これは、誰かの作戦でないかと私も思っているんです。これだけ削減しなきゃ仕方がない。全然市民に相談もなく、マスコミ報道。私はね、今、あおり運転は一発免許取り消しです。これはあおり報道のほか何物でもない。どんどんどんどん煽って市民を不安のどん底に陥れて、それで今から削減します。こんなことはおかしいでしょ。大体、上から目線ですよ。もっともっと、市民の下の、地面に這いつくばってでもね、説明してほしいです。先に、一番先に説明して、市民が納得した上で全国報道してください。これから先が信用なりませんよ。やっぱりね、仕事の関係で、杵築市の方に移住してきた人がね、お祭りもいいし、いいところに来たと言ってくれました。1週間前、そういうことやったら日出に行ったら良かった。しもうたことをした。これで、Iターンとか来てくれますか。空き家バンクいっぱいあるんですけど、こういった姿勢、まず市長のですね、報道に対する意見、まず記者会見やめてください。記者会見するのは担当者を決めてしてください。でないと、これから市長が記者会見するんだったら、財政収支比率が95%になってから、よかったなあ、杵築市はこうして頑張ってるなあ、いうところから記者会見を始めてください。そうしないと、挨拶だけで市民を不安に煽り立てて、この責任をまず取っていただきたいと思ひます。あと新庁舎だとかですね、市民会館に基金を積み立てるとかいう、そういう計画があるんですか、これは止めるんですか、するんですか。そういったこともちゃんと説明してください。あと具体的に、今日せつかく大田に来てるんですが、

ここの地域は、何と何を皆さん我慢してくださいよ。具体的なことを教えてください。今日帰って大田の人は認めてくれた、あれも削減これも削減じゃと後で言われても困りますので、できれば具体的にですね、祭りやイベントの経費とか言うのは、まず経費がなくなったらこの大田地区ではやっていけません。そういったところもちゃんと説明をしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

#### 【質問者 10】

今日は何も言わないという約束なんです。なぜかと言ったら、言いたいことは山ほどあるっていうので、私も今日は言うまい言うまいと来てるんです。私は言いたいことがあります。まず、皆さんの態度にがっかりしました。上から目線で、もうこういうことをしました、これしましたとか、そういう報告はいいんです。ただ、これが失敗した。これがどうした、そういうことを聞いたかったんです。そして、今思うに、今のことはどうしようもないんです。もう終わったんですから、これから本当に頑張ってもらいたいです。もうこれだけです。とにかく頑張ってください。お願いします。

#### 【質問者 11】

度々、すいません。財政の素案について、私が理解が出来ないところがあるんですが、説明をお願いしたいんですが、13ページの見直しの基準の②、他自治体の水準を上回るサービスを実施している事務事業については見直しを行うとありますが、他自治体の水準を上回るということは、杵築市の特色ではないかと思うんです。その特色をいわゆる大分弁で言えば「ほたり投げる」。特色をなくしてしまうということなんです。それと14ページの財源収支試算の中の対策後とあるんですが、その中で、新たな歳入の確保とありますが、今回、この資料は素案ですが具体的な確保策がお示しいただければありがたいと思います。まあ、歳入を増やすためには、人口を増やしたり、企業を誘致したりしなきゃいけないことと思いますが、一体どういうことか。もう一点、最後にこの資料は素案ですよ、素案ということは、成案がどこかでできるわけですね、その成案に対する、まあ今回、1回目の説明会であれば、2回目の成案の説明会があるんでしょうか。その3点お願いします。

#### 【財政課長】

ありがとうございます。見直しの基準で、他自治体の水準を上回るサービスを実施している事務事業については見直しを行うということで、おっしゃられた通り素案でございます。見直しの対象にいたします。確かに上回るサービス

というのは、特徴あるサービスも含まれてると思います。その中でも、事務的に、効果のあるもの、ないもの、子どもさんに係る経費という発言も頂いておりますので、そこは見直しの対象ではありますが、素案であるということで、ご意見を受け止めてまいりたいと思っております。それから財政収支の表の中で、新たな歳入の確保、3,000万円というのは⑦のケーブルテレビ、先ほどからご指摘をいただいておりますが、これを是非、利用料金の改定をお願いしたいということで、そこに挙げさせていただいております。素案ということで挙げさせていただいております。事務事業の見直しも具体的なものを今回ご意見を頂いて、今後、持ち帰りまして当初予算の編成に入ってもらいます。当初予算編成に入っていく中で具体的なものを持って再びご説明にあがるということで考えております。以上です。

#### 【質問者 9】

すいません、先ほどのちょっと、お答えを頂きたいのですが、まず報道の在り方について。それから先ほど新庁舎だとか、市民会館の基金の積み立て、それからこの大田地域に具体的にどういうふうに皆さんに納得のいく施策をしてくれるのか。何を削減するとか、今日、原案があるのか言ってください。

#### 【財政課長】

はい、複合施設の整備基金ということで9月議会において、整備をさせていただきました。その繰越金を利用して5,000万円を積み立てさせていただきました。具体的な計画は無いんですけど、将来的に備えてというつもりでありましたが、この状況については、これ以上、そこに基金を積める状況にないというふうに理解をしております。それから、大田地域に係るものということでもあります。絶対に事務事業の見直しということで、地域のことということとなりますと、多分、イベントごとなどが挙げられてくるのかと思っております。事務事業の見直しの中では、リストアップとしては、夏祭りや白鬚のコンクールが見直しの対象と今時点ではさせていただいております。以上です。

#### 【質問者 9】

その他、具体的に新聞報道に載ってることも言ってください。

#### 【財政課長】

12月10日の報道の中で、温泉や体育館廃止もということでございます。大田地域につきましては、市営の石丸体育館を廃止対象として、今の時点ではリストアップをさせていただいております。後は、事務事業ですので市民の皆

様全体に及ぶものというものはございます。地域に限ったことではなくて、そういうリストアップはさせていただいております。

### 【質問者 1 2】

すいません、成案が出来たときにですね、例えば石丸体育館を廃止して、財源的にいくら浮くのか、例えば今温泉センターを、今日もテレビ見てたら廃止しないでほしいって利用者の人が言ってましたけど、倍にしても置いてほしいってテレビに訴えてましたけど、例えば、それを廃止していくら財源的に浮くのかっていう、そういう表にさせていただきたいなと思うんですね。次に成案として示すときに。じゃないと私たち判断材料が全然ないんで、意見を言うことができないと思います。それをお願いしときたいなと思います。

### 【副市長】

はい、他にないでしょうか。

### 【質問者 1 3】

私は、一小規模事業者として、この大田の地で36年間、客単価300円、500円の積み重ねで、現在に至ってます。だから今日、提示された金額には、とてもついてはいけなかったんですが、ある意味非常に安心しました。それは、とても市の関係者の方々が危機感を持って、有識者会議を立ち上げ、そういう専門家のご意見のもとに、まだ立ち直れる機会を頂いているということで、これからの改革に期待したいと思います。その反面感じたのは、私たち一市民が自分が発信できる良い情報、地域のためになる元気になる材料をどんどん発信してやっぱり杵築みんなで頑張ってるよって言われるような環境づくりを、これからしたいなというふうに前向きに思いましたので、共にやっていくことを感じたということをして今日の説明会に来て思ったこととして聞いていただきたいと思います。

### 【副市長】

はい、大変ありがとうございます。他に

### 【質問者 1 4】

私、福岡の方に長くおまして、田川の方に〇〇町というのがありまして、財政再建団体で、それを見ておりました。その時に起こったのは、町長が喜んでいました。これで思う通りのことが出来ると。公用車を売って、軽トラックで通勤とかしていました。

何を言いたいかと申しますと、再建団体になったときに、町長と話して聞いたのは、何でそんなにうれしがるんですか、「つまらない社員が皆辞めていくんだ」とそうおっしゃってました。本当に〇〇町が好きな職員が残ってくれると、極端に言うとタダでも働いてくれると、いうようなことおっしゃってました。何を言いたいかと申しますと、悪いですけど、ここの中で今日ご説明があった中で、使用料の確保の検討というような項目がありますが、ケーブルテレビで3,000万円くらい収入を増やしたって、話にならないですよ。実際のところ。皆さんお分かりだと思うんですよ。それは、本当にやるのであれば、どこかから企業を引っ張ってくるね、いろんな産業を起こすような投資をしないと無理ですよ。今のままで、縮小そして縮小するものが、弱い部分にみんなし寄せをしてるじゃないですか。弱い臨時職員を首を切ってみたり、逆に言えば、正職員の方はふんぞり返っておられるわけですよ。やっていけるんですか、本当に杵築市は。私は、それを思います。だから、えらい方は辞められても、また他の職場があるでしょう。コネを頼って就職もできるでしょう。しかし、仕方がないと言って首を切られる臨時職員の方は、次の明日の職場はないと思いますよ。そんなに簡単には。私は弱い部分ばかりやったらいけないと思うんですよ。私はこの村で、デイサービスをカットしたときに、大田村にチラシが出ましたが、あの気持ちが大田の村民の皆さんの気持ちだと思うんですよ。だから議員が一人まとまって通ったんじゃないですかね。そのくらい、この村は結構意思をもってると思いますよ。この中で引っかかってくるものがあると思いますけどもね。削減は、小さなことばかりやる前に、でかいことやったらどうですか。給与の3割削減というのであれば、条例を改正して永久にやったらどうですか。職員さんの給与を改定するにしても、5%するんだったら、それこそ基準替えてやったらどうですか。そうすると皆さん本気と思うと思いますよ。それじゃなければ、今の段階では何か上滑りでいってると私はそんなふうに感じました。以上です。

#### 【副市長】

はい、予定をしておりました時間が近くなりました。あとご意見があれば、お一人受け付けたいと思いますが。

#### 【質問者15】

先ほどから皆さん方のご意見を拝聴いたしますとね、やはり皆さん方の本気度が見えないというところに疑問点があると思います。だからですね、事業の見直しとありますけども、やはり地域の活性化につながるような事業を廃止することなく、皆さん方の目線で見ると事業の廃止というのと、我々大田地区民が

見る事業の廃止、だから地域の活性化につながるような事業は、絶対的に辞めたら、この地域は沈んでしまいます。皆さん方のような安易な気持ちでやっていると、大田の地域は無くなります。失礼ですけどね、私はつくづく今感じておりますので、皆さん方の本気度を見せてください。これからこの大田、この杵築をですね、・・・やはり活性化につながるようなことは、どんどんやっていただきたいというふうに思います。その点をよろしく願いいたします。

#### 【副市長】

はい、ありがとうございました。

#### 【質問者16】

最後になりますけど、一言だけ言っておきます。結論はですね、歳入をみると分かる通り、地方交付税に頼ってる、6割ね。本当、自分の金、自由に使えるお金って言うのは、自分で稼いで使える金、地方交付税なんて言うのは、上から削られたら終わりなんで、自分で稼げる、身の丈に合った財政運営を帰ってからしっかり計画をしていただきたいと思います。以上です。

#### 【副市長】

ありがとうございました。それでは、予定の時間になりましたので、これで閉会をしたいと思います。最後に市長から閉会のご挨拶を申し上げます。

#### 【市長】

今日は、長時間にわたりまして、様々な視点からお叱り、それからまた、いろんな提言等も頂きました。本当に反省してるのかとか、上から目線だとか、本当に、そうではないのは当たり前なんですけど、話の仕方、それから、そういうところが皆さん方の不信を招いたということであれば、真摯に反省しながら、そして今日ご意見いただきましたように、何でも縮小ということじゃなくて、大田なら大田の良さ、例えば農林業であるとか、基幹産業が、例えば今、杵築ブランドでやっています。先ほど話しましたようにふるさと納税について、先ほどメールが来まして3億円を突破したということです。それで、目標はもっと上にあるんですけど、そういう全国的に杵築の品物が良い、まずは生産者の方、それを加工している、6次産業化している、そういうところが少しずつですけど、平成27年度から、この事業に取り組みましたが、少しずつ花が咲いてきたなあというふうに思ってます。それをきっかけに、やはり高齢者の方々も、例えば車いすで作業ができるとか、住民自治協議会の中で、簡単な作業ができる、そしてそれが収入に少しでもいいから、ワンコインでもいいから

結びつく。そういったことをやりたいということで、13住民自治協議会を作  
って、そして5つ6つと、大田もそうですけども、住民アンケートに取り組ん  
でいただいたり、それから大田の長所、山香の長所、それぞれいろんな各小学  
校区で考えて、いろんなアイデアが出ております。住民の皆さんが、自分たち  
の地域がどうすればもっと活性化するか、そして市役所と住民自治協議会が一  
緒になって、次のステージを目指すという、そういった形でこの令和2年度の  
予算については、厳しいですけどもそういう芽を、大切に育てていきたいとい  
うふうに思います。先ほど財政課長から話がありましたように、最終的な予算  
編成にあたりましては、各担当課・担当課長を通じて、各種団体、地域の皆さ  
ん方と十二分に協議をし、そして市議会にも説明をしまして作成をしてまいり  
たいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。本日は大変貴重なご  
意見を賜りました。ありがとうございました。